

福祉保健研修交流センターウィリング横浜 平成29年度 事業計画

1 施設の運営に関すること

福祉保健人材の確保、開発、育成の拠点である福祉保健研修交流センターウィリング横浜の研修・情報提供・交流支援等の事業を円滑に実施するよう施設を適正運営します。

(1) 研修施設

福祉保健活動従事者及び一般の利用者に対し安定的、継続的な運営に努め、利用者に快適な環境を提供します。

研修室稼働率目標	60%（昼間72%）
----------	------------

- ・窓口業務は施設の顔であるとともに運営団体である本会のイメージにも直結するため、接客・接遇の点からも利用者サービス向上に取り組みます。
- ・予約管理システムの活用により、インターネットを利用した利用受付などの安定的な運用を図ります。
- ・施設紹介リーフレットやチラシによる積極的な周知を行うとともに、社協ネットワークを活用した広報を行います。
- ・物品預かりロッカーの提供を通して利用団体へのサービス向上を図ります。
- ・老朽化がすすんでいる設備や備品について、計画的な点検・保守をすすめ、利用環境の向上に努めます。
- ・照明設備をLEDに交換することにより、省エネルギー化を図ります。

(2) 情報資料室

福祉・保健関連分野の図書・資料等を広く収集し、福祉保健活動従事者や関連機関、またそれらに関心のある方々に、貸出や館内閲覧等の形式で提供します。

閲覧者数（見込）	11,250人
新規登録者数（見込）	370人
貸出冊数（見込）	5,750冊
新規受入数（見込）	1,400冊

①蔵書方針

平成24年度に設定した蔵書方針を29年度も継続し、福祉保健に関する資料の収集提供及び研修事業、調査研究事業に関連した資料を収集し受講者を中心とした利用者へ提供します。

- ・ウィリング横浜主催研修に関連した資料・テキスト等を収集・整備・提供します。
- ・研修講師の著作品や推薦図書を収集・整備・提供します。
- ・大学紀要及び福祉保健関連機関における事業報告書等について、定期刊行物を収集・整備・提供します。
- ・その他研修事業等に関する資料を収集・整備・提供します。

②蔵書内容

福祉・保健関連分野の図書・逐次刊行物・会報紙・広報紙・視聴覚資料等を前述の蔵書方針に基づき収蔵しており、その蔵書数は約6万6千点に及んでいます。また、歴史的に貴重な福祉・保健関連の資料及び逐次刊行物を整備保存します。

③企画展

主催研修、人材確保事業、研究発表大会において、各研修テーマに関連した図書・資料や福祉保健関連の貴重な蔵書等を展示する企画展を開催します。

④情報発信

福祉保健活動従事者や関連機関、またそれらに関心のある方々が必要な情報を得られるように、ホームページに新着情報を掲載、またテーマ別図書情報を作成し主催研修等で配布します。

(3) 適正な管理運営

①職員配置

次のとおり職員配置を行い、適正な施設の管理運営及び事業に努めます。

部署等の名称	担当業務	職種	常勤職員	非常勤職員	主な担当業務
館長	館内業務総括	館長	1		全体業務総括
小計			1		
管理運営担当	センター管理運営事業	担当課長	1		管理運営業務統括
		担当職員	3	1.5	管理運営業務他
		担当職員	4	7	フロント業務
小計			8	8.5	
人材開発担当	人材開発育成事業	担当課長	1		人材開発育成事業統括
		担当職員	6.5	4.5	研修事業他
		担当職員	0.5	8	情報資料室業務
小計			8	12.5	
合計			17	21	

②事故防止及び緊急時等の対応

危機管理マニュアルに基づき、各担当での緊急時の連絡体制、利用者の急病・事故等の際の救急車の要請などに対応します。また、ヒヤリハット集を活用して、事故の未然防止に努めます。

③利用者ニーズ・要望・苦情への対応

要望・苦情について、業務水準向上の機会と捉え、速やかに、かつ適切に要望等を受けとめて苦情解決を図り、利用者満足度の向上を目指します。

- ・アンケートの実施（研修受講者）
- ・ご意見箱の設置（常設）
- ・窓口満足度調査の実施（年1回実施）

④個人情報保護・情報公開への取組

本会の次の規程等に基づき、適切に収集、管理、使用します。

- ・保有する個人情報の保護に関する規程
- ・保有する情報の公開に関する規程
- ・個人情報取扱マニュアル

⑤環境への配慮

環境への配慮について、施設利用者への啓発を行い、協力を仰ぐことに努めます。また、地球環境に配慮する取組をすすめます。

2 施設の維持管理に関すること

利用者に施設を快適・安全・安心して利用していただくために、施設の維持・保全・管理に努めます。

(1) 電気・機械設備管理・衛生管理・建物管理

建物・設備の適切な維持・管理を行うため、日常の点検や小破修繕に加え、半年ごとの休館日に合わせて定期点検及び大規模な修繕を実施します。

(2) 清掃・設營業務

環境衛生、美観の維持を心がけ、清掃業務をとおして施設として安全かつ快適な空間を保つため次の業務を行います。

①日常清掃・設営

日常的な清掃を行い、施設、備品、器具等が常に清潔かつ良好な状態で使用できる状態が保たれるようにします。なお、研修室は、予約状況に応じ、備品等の設営を行います。

②定期清掃

日常清掃では実施しにくい清掃等を確実にを行うため定期清掃を行います。

(3) 警備関係業務

施設の防犯・保安管理のため、警備業務を実施します。なお、警備方法は、年中無休・24時間体制とし、防犯・保安対策については、ゆめおおおか管理組合、同組合構成員と協力・連携を図りながら行います。

3 施設で実施する事業に関すること

(1) よこはま福祉・保健カレッジ事業

横浜市における福祉及び保健サービスの質の向上を図るため、福祉保健従事者育成のためのネットワークとして、参加機関の連携による協働研修の実施や主催研修の紹介等を行うことにより、豊かな人間関係並びに福祉及び保健に関する専門的知識、技術、対人援助能力、地域福祉推進能力、マネジメント能力を兼ね備えた人材を育成します。

カレッジ認定講座数（見込）	1 1 0 講座
カレッジ参加機関数（見込）	1 9 機関 ※ウィリング横浜は含まず

①よこはま福祉・保健カレッジ認定講座の開催

参加機関及びウィリング横浜では、よこはま福祉・保健カレッジ事業の目的を達成するため、対人援助能力、福祉の知識・技術、地域福祉推進能力、マネジメント能力、社会人としての知識の5つの研修領域を柱としてよこはま福祉・保健カレッジ講座を開催します。

②よこはま福祉・保健カレッジ連絡会議の開催

参加機関の相互連携・協力実現に向けて、よこはま福祉・保健カレッジ連絡会議を開催します。

また、連絡会議の運営及び事業の企画等について検討するため、よこはま福祉・保健カレッジ連絡会議事業企画分科会を開催します。

③よこはま福祉・保健カレッジとウィリング横浜の事業連携

横浜市内の福祉・保健現場の人材育成・確保・定着を支援するために、参加機関と事業連携し、多方面での福祉の仕事相談や施設見学会等を行います。

(2) 研修事業

福祉保健従事者や活動者を対象に、公共性の高い研修機関として「よこはま福祉人材育成指針」に求められる人材育成を推進します。

研修のコンセプトを「組織力の向上と地域福祉の推進」として研修内容に反映します。

平成29年度は引き続き社協の強みを生かした「地域力を高める」研修を通じて、社会福祉法人の地域貢献活動や地域福祉活動者の支援を強化します。

研修件数（見込）	61件
研修コース数（見込）	68本
研修受講者数（見込）	9,355人
研修開催日数（見込）	91日

①コンセプト「組織力の向上と地域福祉の推進」

ア. 組織力の向上

組織の基盤強化を行うことで、福祉保健サービスにおける質の向上を実現できるという概念を進めるため、平成25年度から実施したキャリアパス研修を軸として、階層間に連動する研修を開催し、階層間のギャップを埋め、個々の組織の基盤強化を目指す研修体系を構築します。

イ. 地域福祉の推進

「地域協働」の考え方にに基づき、事業所等が持つ福祉保健に関する技術・知識を地域に還元するイメージや地域の社会資源活用等の考え方を各研修に組み込むとともに、社会福祉法人の地域貢献研修及び地域福祉活動者の育成研修を強化します。

②主催研修

引き続きキャリアパス対応研修を主軸に、福祉人材の定着・育成に取り組みます。

ア．組織力を高める

組織全体のサービス向上を意識し、全社協が提唱する「キャリアパス対応生涯研修課程」を主軸に階層間の連動性を意識した研修を実施します。

- ・階層別研修（トップセミナー、管理職員研修、中堅職員研修等）
- ・組織力課題別研修（OJT研修、リーダーシップ基礎研修、苦情対応基礎研修等）

イ．専門力を高める

研修参加者個々のスキルアップを目標に、階層別の研修体系を取り入れて実施します。

- ・福祉職員共通の専門性に関する研修（対人援助技術研修等）
- ・スキルアップ研修（障害者支援の基礎研修、レクリエーション研修等）
- ・課題別研修（各種制度施策研修等）

ウ．地域力を高める

横浜市や横浜市社会福祉協議会の担当部署と協議、連携し、モデルプログラムを作成し実施します。また、小地域福祉活動従事者研修については、横浜市社会福祉協議会で予定されている「よこはま地域福祉フォーラム」との一体開催を図ります。

また、横浜の住民福祉活動の発展を目指し、地域福祉活動者の養成をします。

- ・地域福祉つなぎ隊研修(地域福祉活動推進者研修)
- ・福祉施設職員のための「地域とのつながり」講座 等

エ．民生委員児童委員研修

民生委員児童委員研修については、市民児協との連携調整を行いながら、実施します。

- ・民生委員児童委員研修

③ハマ・キャリ・ネットの稼働

ウィリング横浜が進める研修情報システムとして、ハマ・キャリ・ネットの稼働を行います。すでに研修情報としてインターネット上では研修案内の公開をしていますが、26年度に試行したインターネット上での受講申し込みをさらに充実させ、より参加しやすい研修環境の構築を目指します。

④その他

ア．研修委員会

ウィリング横浜の研修等事業に対して、企画・進行管理・評価等を行う機関として、研修委員会を定期開催します。（年3回）

(3) 福利厚生事業

福祉保健従事者、活動者に対して仕事や活動等における悩みについて臨床心理士等資格を持つカウンセラーが相談を受ける「こころの相談室」事業を行います。

福祉保健関係者の抱える問題の解決や心理的負担の軽減を図ることで、福祉保健関係者の福利厚生と職場環境の改善、また福祉保健関係者がより充実した活動ができるようになることを目指します。

また、相談が必要な方へ相談室の情報が確実に届くよう、更なる事業の周知と浸透を図り、さらに相談室がより使いやすくなるように、前年度までの実績を踏まえ、平成29年度からは比較的利用率の高い平日の日数を増やすといった、開設日の変更に取り組みます。

相談室開設日数（見込）	99日
相談室利用件数（見込）	160件
相談対象	福祉保健従事者もしくはその関係者の方、福祉活動者

（４） 調査研究事業

横浜における福祉保健事業向上のため、広く調査研究を行う団体を募集し、福祉保健従事者や市民活動団体が自主的に取り組む福祉保健に関する、調査研究事業を推進するための場や情報の提供、共催研修の開催、調査研究成果の発表等の支援を行います。

登録団体数（見込）	10団体
-----------	------

①自主調査研究活動に対する場所や情報の提供

調査研究団体に対して研修室111の使用を無料にするとともに、プロジェクター等の機材を無料で貸出し、調査研究活動の支援を行います。また、活動を支援しながら、講師の発掘や研修の開発も引き続き取り組みます。

②代表者連絡会の開催

団体の代表者を集め、団体間の情報交換や事務局からの連絡事項、研究事業のあり方等の意見交換を行います。

③研究発表大会の開催

福祉保健従事者が行う独自の研究題材を市内に広く紹介し、福祉保健サービスの向上を目指すために研究発表大会を開催します。

④事業の目指すべき方向性の検討

調査研究事業の実施内容について平成28年度「調査研究事業のあり方検討会」を開催し協議を進めました。平成30年度からは、この検討結果や第三者評価結果などを踏まえ、自主研究団体支援も含めた福祉保健関係者の課題への取組に寄与する調査研究事業を提案、実施します。平成29年度は従来どおり上記①～③の調査研究事業を行いつつ、平成30年度からの事業実施に向けて準備を行います。

（５） 福祉人材確保・定着支援事業

数年来課題になっている福祉保健分野における恒常的な人材不足を解消するために、福祉保健職場の理解促進を目的に福祉の仕事個別相談をはじめとした各種事業を開催します。

福祉保健・介護のお仕事個別相談人数（見込）	100人
出張による個別相談人数（見込）	150人

①福祉保健・介護のお仕事個別相談の実施

福祉保健分野への就労を考えている方を対象に、仕事内容等各種情報提供を含めた個別相談を行います。

<実施日時>毎週月曜日 午後2時～4時
毎週金曜日 午前10時～12時
<実施場所>ウィリング横浜 12階交流スペース内

②福祉保健人材の発掘

関係機関と連携しながら大学等教育機関を訪問し、福祉保健関係の仕事紹介の場の設定を依頼するとともに、必要に応じて情報提供及びガイダンス等を実施します。

また、各区社会福祉協議会が実施する区就職相談会について、周知を含めた積極的な協力を行います。

③福祉のしごと☆魅力発見！事業

福祉・保健分野で活躍されている職員をパネリストに迎えた仕事紹介等の講座や現場見学の機会を設定し、仕事への理解促進を行います。

④福祉施設・事業所等訪問調査

下記を目的に市内の福祉施設等に出向きヒアリングを実施します。

- ・ウィリング横浜主催研修へのご意見、ご要望の収集及び周知
- ・人材確保や育成状況及び、施設内外の研修受講実績等の把握
- ・個別相談に活用するための求人・採用実態、職員構成等の情報収集
- ・「ウェルじゃん」求人の周知及び活用促進
- ・人材定着の施策、工夫（賃金などの労働条件を除く）についての情報収集

⑤福祉保健交流スペース「ウェルじゃん」の運営

福祉に関する人々（福祉保健事業従事者、ウィリング横浜利用者、福祉に関心がある市民など）が交流を深めるきっかけの場、福祉に関する各種情報を提供する場として、ウィリング横浜12階交流スペースに設置します。

- ・「福祉保健・介護のお仕事個別相談」（再掲）
- ・市内福祉保健関係の求人情報提供（WEB版あり）
- ・福祉に関する書籍・雑誌の閲覧

平成29年度 福祉保健研修交流センターウィリング横浜指定管理事業収支予算書

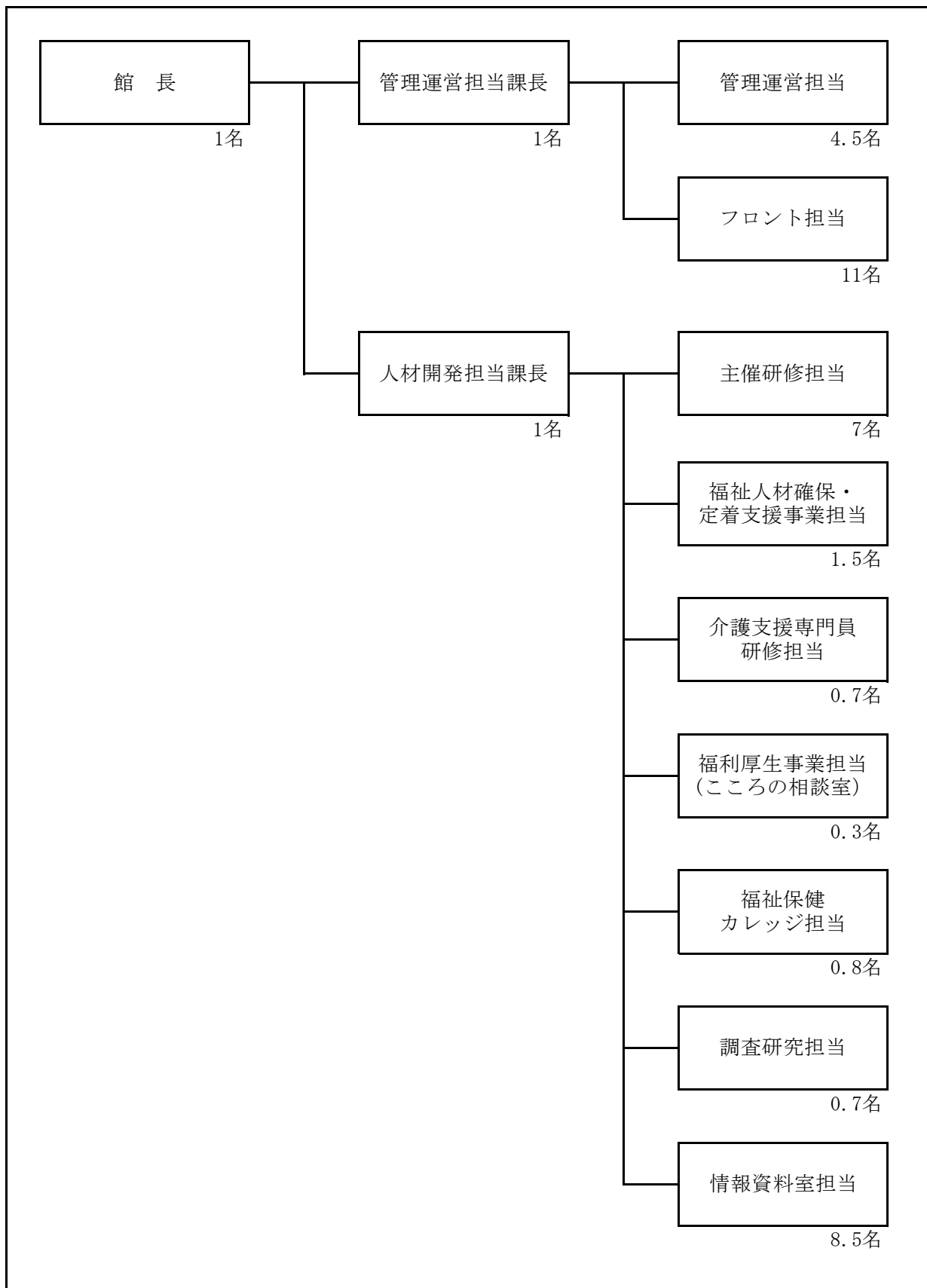
収入				(単位:円)
項目	予算額	前年予算額	差引	備考
受託金収入	159,639,000	159,639,000	0	
横浜市指定管理料	159,639,000	159,639,000	0	
事業収入	82,271,000	83,531,000	▲ 1,260,000	
参加費収入	16,471,000	16,551,000	▲ 80,000	研修参加費
利用料収入	63,000,000	64,000,000	▲ 1,000,000	研修室等利用料
広告料収入	100,000	100,000	0	事業報告広告掲載料
手数料収入	2,700,000	2,880,000	▲ 180,000	運送業務代理受付手数料等
負担金収入	1,178,000	1,178,000	0	
利用料等負担金収入	528,000	528,000	0	コピー機売上金等
負担金収入	650,000	650,000	0	テキスト代
受取利息配当金収入	3,000	3,000	0	預金利息
雑収入	1,350,000	0	1,350,000	
収入計	244,441,000	244,351,000	90,000	

支出				
項目	予算額	前年予算額	差引	備考
人件費支出	122,030,000	116,127,000	5,903,000	
職員給料支出	63,202,000	60,412,000	2,790,000	
職員俸給	54,866,000	52,053,000	2,813,000	
職員諸手当	6,463,000	6,149,000	314,000	
通勤手当	1,873,000	2,210,000	▲ 337,000	
職員賞与支出	16,919,000	14,810,000	2,109,000	
非常勤職員給与支出	29,308,000	27,435,000	1,873,000	
法定福利費支出	12,601,000	13,470,000	▲ 869,000	社会保険料
事業費支出	115,298,000	117,179,000	▲ 1,881,000	
水道光熱費支出	31,000,000	33,000,000	▲ 2,000,000	ガス・電気・水道等料金
消耗品費支出	4,145,000	4,135,000	10,000	コピー用紙、事務用品等
器具什器費支出	1,502,000	1,264,000	238,000	研修室貸出備品等
保険料支出	110,000	175,000	▲ 65,000	施設賠償保険料
賃借料支出	1,721,000	2,061,000	▲ 340,000	複合機、AEDリース費用
諸謝金費支出	6,653,000	6,460,000	193,000	研修講師謝金等
旅費交通費支出	454,000	414,000	40,000	職員出張旅費
印刷製本費支出	1,939,000	1,309,000	630,000	研修案内冊子、封筒印刷等
修繕費支出	2,450,000	2,330,000	120,000	館内設備等修繕
通信運搬費支出	2,418,000	2,423,000	▲ 5,000	電話料金、研修受講通知等送付経費
会議費支出	420,000	323,000	97,000	研修講師打合せ費用弁償等
広報費支出	440,000	140,000	300,000	研修室利用案内・周知経費
業務委託費支出	48,451,000	48,766,000	▲ 315,000	施設保守管理業務、研修周知等
手数料支出	1,471,000	1,420,000	51,000	振込手数料等
租税公課支出	10,224,000	10,389,000	▲ 165,000	消費税、印紙税
教材費支出	100,000	650,000	▲ 550,000	受講者配布用研修テキスト購入
蔵書購入費支出	1,800,000	1,920,000	▲ 120,000	情報資料室書籍購入
事務費支出	578,000	491,000	87,000	
福利厚生費支出(事務費)	458,000	371,000	87,000	健康診断費用、市勤労者福祉共済掛金
研修研究費支出(事務費)	120,000	120,000	0	職員派遣研修費
負担金支出	7,000	7,000	0	図書館協会会費
事業区分間繰入金支出	6,528,000	10,547,000	▲ 4,019,000	退職積立金、法人共通経費
支出計	244,441,000	244,351,000	90,000	

繰越金充当 (前期末支払資金残高)	0	0	0	
----------------------	---	---	---	--

収入計一支出計	0
---------	---

平成29年度 福祉保健研修交流センターウィリング横浜 組織図



平成29年度 福祉保健研修交流センターウィリング横浜
職員等配置計画

(単位：人)

所属	担当業務	職種	常勤職員	非常勤職員	備考
		館長	1		
管理運営担当	センター管理 運営事業	管理運営 担当課長	1		
		担当職員	3	1.5	管理運営担当
		担当職員	4	7	フロント担当
人材開発担当	人材開発 育成事業	人材開発 担当課長	1		
		担当職員	4	3	主催研修担当
		担当職員	0.5	1	福祉人材確保・ 定着支援事業担当
		担当職員	0.7		介護支援専門員研修担当
		担当職員	0.3		福利厚生事業担当 (こころの相談室)
		担当職員	0.5	0.3	福祉保健カレッジ担当
		担当職員	0.5	0.2	調査研究担当
		担当職員	0.5	8	情報資料室担当
合計			17	21	